

【調査位置図】



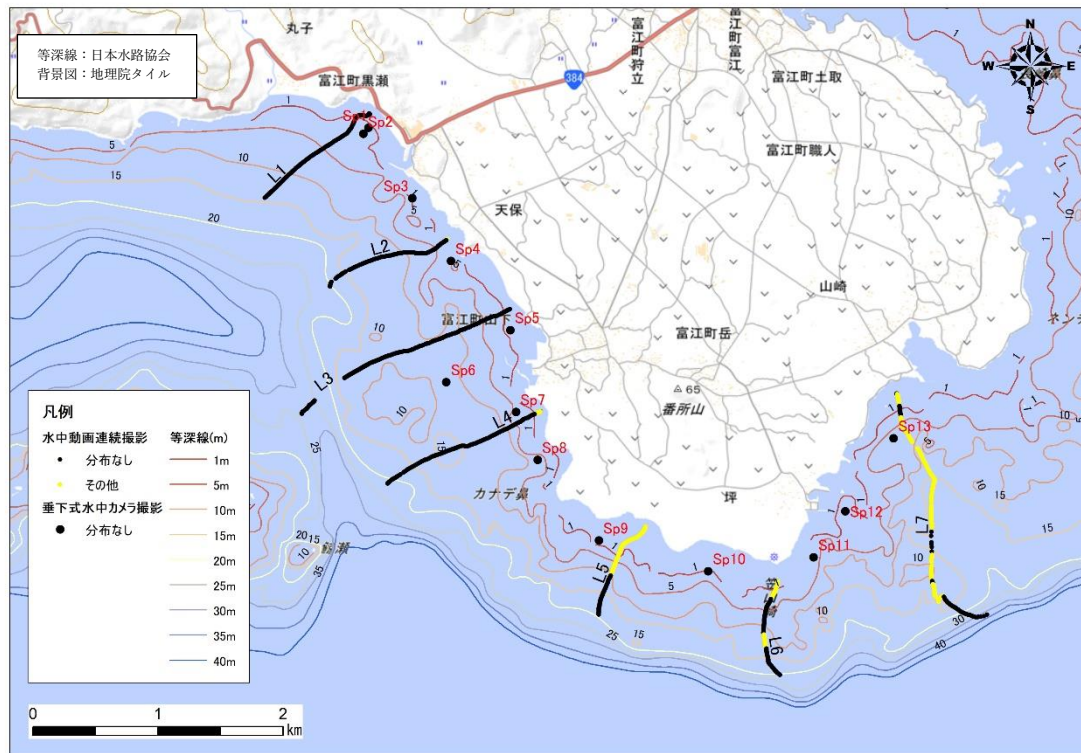
【水中動画連続撮影】

ライン 番号	岸側基点				沖側基点				測線長 (m)
	緯度		経度		緯度		経度		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,416
2	-	-	-	-	-	-	-	-	1,071
3	-	-	-	-	-	-	-	-	1,859
4	-	-	-	-	-	-	-	-	1,603
5	-	-	-	-	-	-	-	-	844
6	-	-	-	-	-	-	-	-	792
7	-	-	-	-	-	-	-	-	2,041
測線長 計									9.6km

【垂下式水中カメラ撮影】					【 UAV 撮影（オーバーラップ撮影範囲）】				
スポット 番号	緯度		経度		撮影範囲	緯度		経度	
1	-	-	-	-	A	-	-	-	-
2	-	-	-	-	B	-	-	-	-
3	-	-	-	-	C	-	-	-	-
4	-	-	-	-	D	-	-	-	-
5	-	-	-	-					
6	-	-	-	-					
7	-	-	-	-					
8	-	-	-	-					
9	-	-	-	-					
10	-	-	-	-					
11	-	-	-	-					
12	-	-	-	-					
(5) 調査年月日					令和2年11月5日、11月6日（UAV撮影：11月6日）				
(6) 調査実施者					株式会社パスコ 北野武司（調査責任者）				
(7) 調査海域の概要									
本海域は、五島列島福江島南端の富江半島周辺に位置し、第4回、第5回自然環境保全基礎調査では、ガラモ場、アラメ場からなる藻場が広く確認されている。富江半島は火山の噴火でできた台地であり、海岸線は溶岩により形成された岩礁が続いている。 現地調査は、富江半島の周囲にみられる藻場を対象に実施した。 五島市富江町沿岸海域での高度100mの年間平均風速は7.0～7.5m/sとなっている（NeoWins（洋上風況マップ）：NEDO）。									

(8) 調査結果 ①水中動画連続撮影

【確認結果平面図】



測線 1： 富江半島西側の調査測線、水深 D. L-4.3～14.4m、底質は主に砂であり、部分的に礫が混在していた。小型藻類を含めアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかった。

測線 2： 富江半島西側の調査測線、水深 D. L-2.0～19.5m、底質は主に巨礫、礫、砂の混在であった。岸側岩盤上のごく一部に小型藻類が確認され、水深 D. L-5m 程度までサンゴが散見された。

測線 3： 富江半島西側の調査測線、水深 D. L-2.9～27.5m、底質は主に巨礫、礫、砂の混在であった。小型藻類を含めアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかったが、水深 D. L-10m 程度までサンゴが散見された。

測線 4： 富岡半島西側の調査測線、水深 D. L-2.8～20.2m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。水深 D. L-10m 程度までサンゴが散見され、ごく一部に小型藻類が確認された。

測線 5： 富岡半島南側の調査測線、水深 D. L-1.7～20.9m、底質は主に巨礫、礫の混在であった。水深 D. L-9m 程度までの礫上等で小型藻類が分布しており、サンゴも散見された。

測線 6：富岡半島南側の調査測線、水深 D.L-1.3～-18.6m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。礫上等で部分的に小型藻類、サンゴが確認された。

測線 7：富岡半島南側の調査測線、水深 D.L-1.1～-32.0m、底質は岩盤、巨礫、礫、砂が混在し、多様であった。岩盤、礫上等に小型藻類の分布が確認され、サンゴが散見された。



サンゴと小型藻類（測線 2）



小型藻類（測線 5）

(8) 調査結果 ②垂下式水中カメラ撮影

【垂下式水中カメラ撮影 調査結果一覧】

地点 番号	水深 (D. Lm)	底質	主要な藻類 (種名・被度)	備考
Sp1	-3.1	礫、砂・泥	-	
Sp2	-3.2	砂・泥	-	
Sp3	-3.5	礫、砂・泥	-	
Sp4	-3.3	岩盤、岩塊・巨礫、礫	-	
Sp5	-2.8	岩塊・巨礫、礫	-	
Sp6	-11.4	砂・泥	-	
Sp7	-6.0	岩塊・巨礫、礫	-	
Sp8	-6.1	岩塊・巨礫、礫	-	サコ [*] 確認
Sp9	-4.4	岩塊・巨礫、礫	-	サコ [*] 確認
Sp10	-3.3	岩塊・巨礫	-	
Sp11	-4.7	岩塊・巨礫	-	サコ [*] 確認
Sp12	-3.6	岩盤、岩塊・巨礫	-	
Sp13	-4.0	岩盤、岩塊・巨礫	-	



岩塊・巨礫、礫の底質 (地点 5)



サコ^{*} (地点 9)

(8) 調査結果 ③UAV 撮影

【UAV 撮影結果 簡易オルソ画像】

簡易オルソ画像からは、撮影範囲（300×300m）内の底質の状況は確認できるが、藻場の分布に関しては明確ではない。

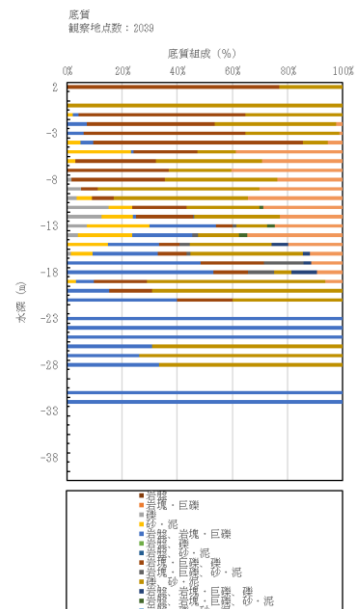
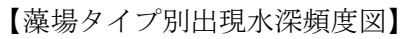


撮影時間	潮位※ ¹	風向・風速※ ²	波高	撮影高度	備 考
2020/11/6 14:00～15:00	D. L 1.98m	東南東 3.4m/s	0.5m 以下	149m	

※¹ 潮位は、気象庁福江検潮所における 14 時時点の潮位表基準面上の値

※² 風向・風速は、気象庁福江観測所における 14 時時点の値

【藻場分布調査結果図】



(10) まとめ

調査海域は、長崎県五島市富江町の福江島南端に位置する富江半島周辺の溶岩による岩礁域が主体の海域である。

現地調査では、各測線では紅藻類、褐藻類などの小型藻類の分布はみられたが、測線、地点ともにアマモ類、大型褐藻類の分布は確認されなかった。

調査海域の北端であり、砂質が主体の測線 1 を除き、各測線ではサンゴの分布がみられた。

(11) その他特記事項

※ 潮位補正は、気象庁推算潮位の福江（FUKUE）を用いた。